

<Cコース (為替ヘッジあり) >

償還日 (2023年3月17日)	
償還価額	9,499円56銭
純資産総額	11億円
第10期 (2022年3月18日～2023年3月17日)	
騰落率	△12.8%
分配金	0円

<Dコース (為替ヘッジなし) >

償還日 (2023年3月17日)	
償還価額	12,424円02銭
純資産総額	648百万円
第10期 (2022年3月18日～2023年3月17日)	
騰落率	△0.7%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント 株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

各ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書(全体版)

ピムコ

世界債券戦略ファンド (年1回決算型)

Cコース (為替ヘッジあり) / Dコース (為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 債券

交付運用報告書 償還

作成対象期間：2022年3月18日～2023年3月17日

第10期 (償還日 2023年3月17日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ピムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型) Cコース(為替ヘッジあり) / Dコース(為替ヘッジなし)」は、2023年3月17日に償還させていただきました。ここに運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

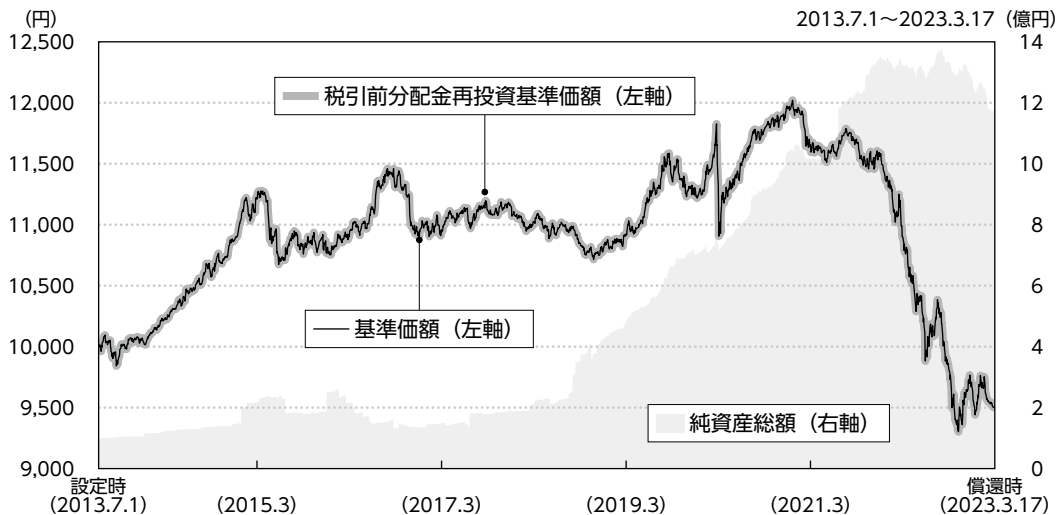
今後とも当社商品につきまして、いっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

運用経過

設定来の基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
償還時	9,499円56銭	騰落率 (分配金再投資ベース)	△5.0%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2013年末から2016年央にかけて、イギリスの欧州連合（EU）離脱を巡る国民投票において離脱派が過半数を占め、投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどから各国債券市場が上昇したこと

<下落要因>

- ・2021年から償還時にかけて、主要中央銀行が利上げを実施したことなどから各国債券市場が下落したこと

このたびは、長らくのご投資誠にありがとうございました。

今後ともニッセイアセットマネジメントの商品をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1万口当たりの費用明細

2022.3.18～2023.3.17

項目	第10期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	159円	1.600%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,929円です。
（投信会社）	（ 90）	（0.911）	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	（ 66）	（0.662）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	（ 3）	（0.027）	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.010	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 1）	（0.010）	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	160	1.610	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

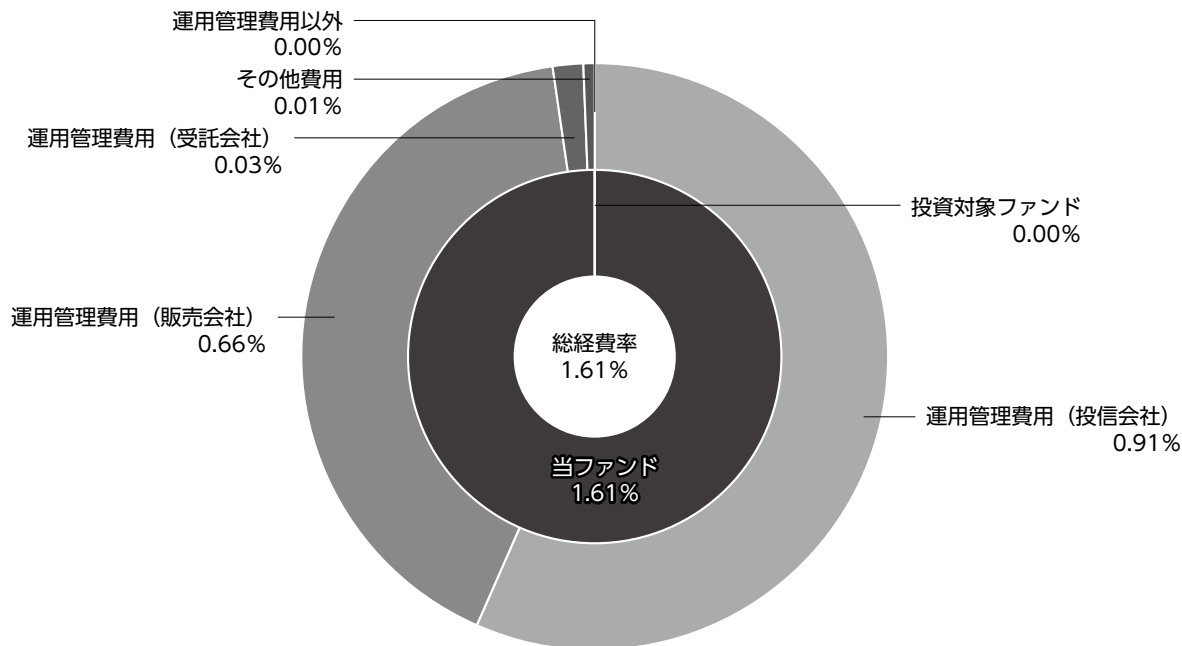
（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（注4）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.61%**です。



総経費率 (①+②)	1.61%
①当ファンドの費用の比率	1.61%
②投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

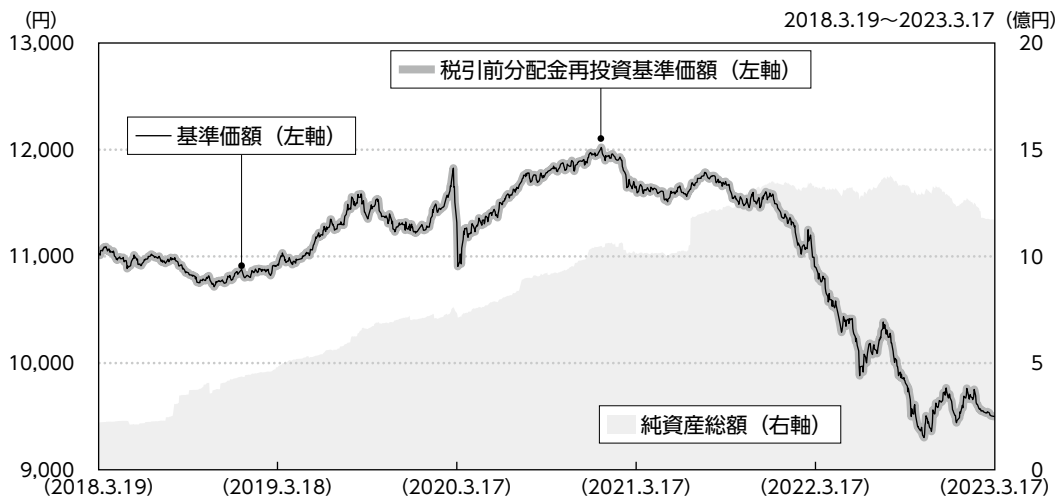
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注8) 投資対象ファンドの運用管理費用はありません。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの償還日は2023年3月17日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、2018年3月19日の基準価額にあわせて再指数化しています。

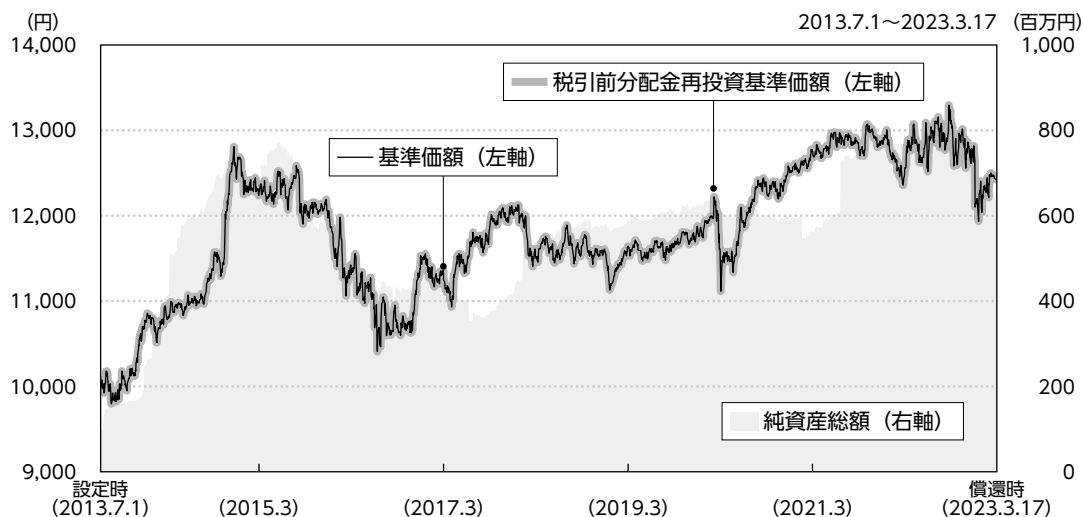
(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2018年 3月19日	2019年 3月18日	2020年 3月17日	2021年 3月17日	2022年 3月17日	2023年 3月17日
基準価額（分配落）	（円）	11,019	10,922	11,317	11,656	10,897	9,499.56
期間分配金合計（税引前）	（円）	－	0	0	0	0	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	（％）	－	△0.9	3.6	3.0	△6.5	△12.8
参考指数騰落率	（％）	－	1.5	7.7	△0.7	△4.6	△11.1
純資産総額	（百万円）	215	480	735	1,015	1,326	1,171

(注1) 参考指数はF T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジベース）です。なお参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

(注2) 償還日の基準価額は償還価額を記載しています。

設定来の基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
償還時	12,424円02銭	騰落率（分配金再投資ベース）	24.2%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 設定時から2014年末にかけて、中国の利下げや原油価格の大幅下落を背景とした世界的な株高などを背景に、米ドルやユーロが対円で上昇したこと

<下落要因>

- ・ 2015年から2016年央にかけて、イギリスのEU離脱を巡る国民投票において離脱派が過半数を占め、投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどから米ドルやユーロが対円で下落したこと

このたびは、長らくのご投資誠にありがとうございました。

今後ともニッセイアセットマネジメントの商品をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1万口当たりの費用明細

2022.3.18～2023.3.17

項目	第10期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	204円	1.602%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,724円です。
（投信会社）	(116)	(0.911)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(84)	(0.663)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.011)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	205	1.613	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

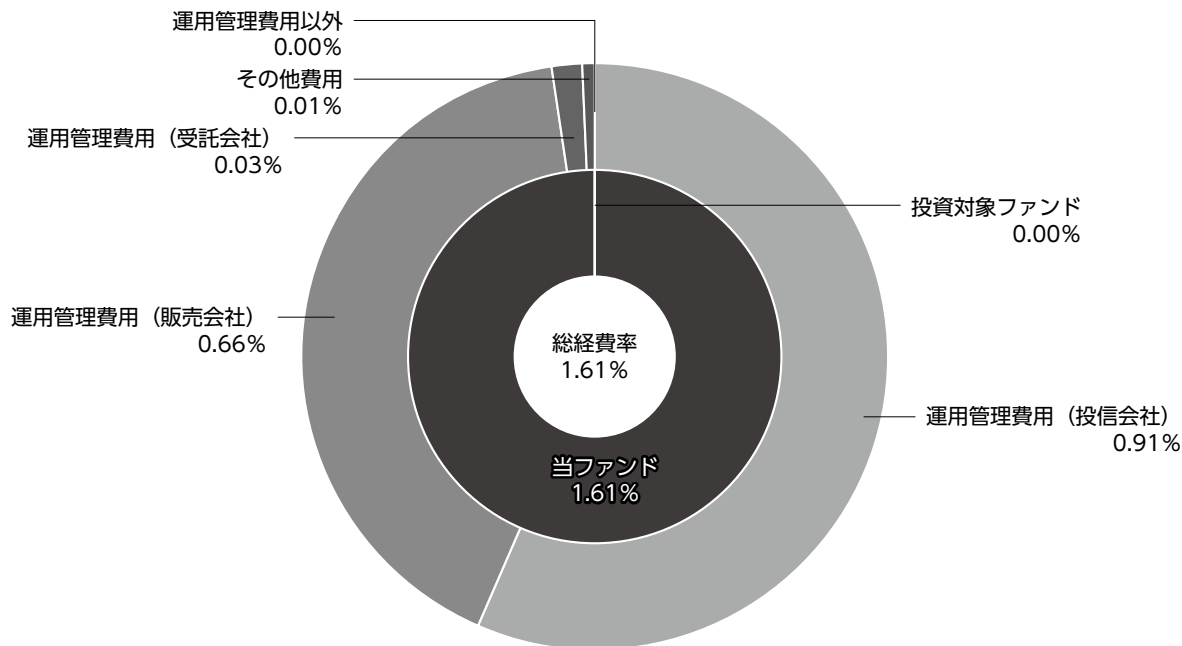
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.61%**です。



項目	比率
総経費率（①+②）	1.61%
①当ファンドの費用の比率	1.61%
②投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

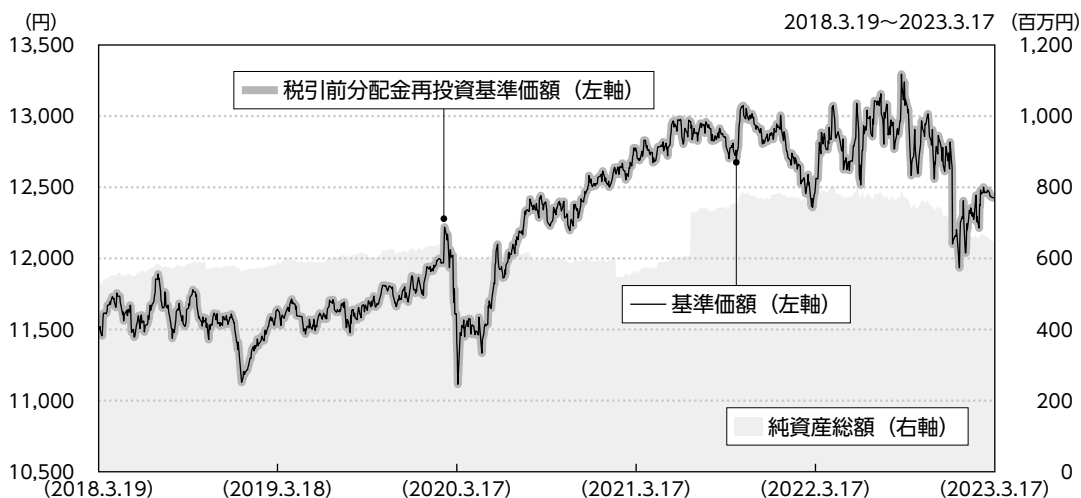
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注8) 投資対象ファンドの運用管理費用はありません。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの償還日は2023年3月17日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、2018年3月19日の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

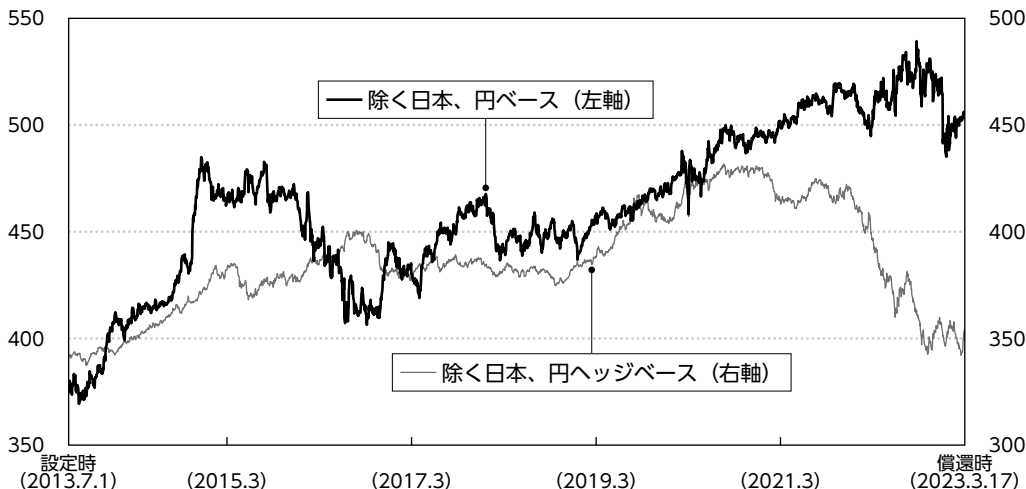
決算日		2018年 3月19日	2019年 3月18日	2020年 3月17日	2021年 3月17日	2022年 3月17日	2023年 3月17日
基準価額（分配落）	(円)	11,497	11,643	11,410	12,758	12,507	12,424.02
期間分配金合計（税引前）	(円)	－	0	0	0	0	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	－	1.3	△2.0	11.8	△2.0	△0.7
参考指数騰落率	(%)	－	3.8	1.8	7.6	△0.0	0.5
純資産総額	(百万円)	535	588	602	564	770	648

(注1) 参考指数はF T S E世界国債インデックス（除く日本、円ベース）です。なお参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

(注2) 償還日の基準価額は償還価額を記載しています。

設定来の海外債券市場

【F T S E 世界国債インデックス】



(注) 指数はブルームバークのデータを使用しています。

■ 除く日本、円ヘッジベース

F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジベース) は、当運用期間を通じて見るとほぼ同水準となりました。

米国債券市場については、2013年末から2016年央にかけて、イギリスのEU離脱を巡る国民投票において離脱派が過半数を占め、投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどから上昇しました。2021年から償還時にかけては、米連邦準備制度理事会 (F R B) が利上げを実施したことなどから下落しました。

ドイツ債券市場については、2013年末から2016年央にかけて、イギリスのEU離脱を巡る国民投票において離脱派が過半数を占め、投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどから上昇しました。その後もおおむね上昇基調で推移しましたが、2021年から償還時にかけては、インフレ指標の予想以上の高まりなどを受けて欧州中央銀行 (E C B) が利上げを行ったことなどから下落しました。

イギリス債券市場については、2013年末から2016年央にかけて、国民投票でEU離脱派が勝利したことを受け、今後の景気に対する大幅な下押し懸念が意識されたことなどから上昇しました。その後も上昇基調で推移しましたが、2021年から償還時にかけては、イングランド銀行 (B O E : 中央銀行) が利上げを実施したことなどから下落しました。

■ 除く日本、円ベース

F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、当運用期間を通じて見ると為替市場において主要通貨が対円で上昇したことなどを受けて上昇しました。

米ドル/円相場は当運用期間を通じて見ると米ドル高円安となりました。設定時から2014年末にかけては、中国の下げや原油価格の大幅下落を背景とした世界的な株高などを背景に米ドル高円安となりました。2015年から2016年央にかけては、イギリスのEU離脱を巡る国民投票において離脱派が過半数を占め、投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどから米ドル安円高基調で推移しました。2021年から償還時にかけては、F R B が金融引き締めに積極的な姿勢を示したことなどを受けて米金利は大幅に上昇し、日米金利差が拡大したことなどからおおむね米ドル高円安となりました。

ユーロ／円相場は当運用期間を通じて見るとユーロ高円安となりました。設定時から2014年末にかけては、中国の利下げや原油価格の大幅下落を背景とした世界的な株高などを背景にユーロ高円安となりました。2015年から2016年央にかけては、イギリスのEU離脱を巡る国民投票において離脱派が過半数を占め、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどからユーロ安円高基調で推移しました。2021年から償還時にかけては、インフレ指標の予想以上の高まりなどを受けてECBが利上げを行ったことなどからユーロ高円安となりました。

ポートフォリオ

■Cコース（為替ヘッジあり）

PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド クラス円ヘッジへの投資を通じて、各国の債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。償還に向けて外国投資信託証券の全売却を行いました。

■Dコース（為替ヘッジなし）

PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド クラス円への投資を通じて、各国の債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。償還に向けて外国投資信託証券の全売却を行いました。

■PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド クラス円ヘッジ／クラス円

*償還日である2023年3月17日現在、各ファンドにおいて投資先ファンドの組み入れはありませんが、ご参考までにピムコ（PIMCO：パンフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー）の資料（現地における償還日の前月末営業日基準）に基づき、投資信託証券の情報を記載しています。なお、開示にあたってはニッセイアセットマネジメントが作成しています。

各国の債券を主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。償還に向けて保有銘柄の売却を進め現金化を行いました。

<債券種類別組入状況>

2月末時点では、組入比率の高い順にその他（95.4%）、モーゲージ債（3.9%）、国債／政府機関債（0.4%）としました。

（注）比率は対純資産総額比です。以下同じです。

<通貨別組入状況>

2月末時点では、組入比率の高い順にその他通貨（92.5%）、米ドル（6.4%）、ユーロ（0.7%）としました。

<格付別組入状況>

2月末時点での組入債券の平均格付はAA格でした。

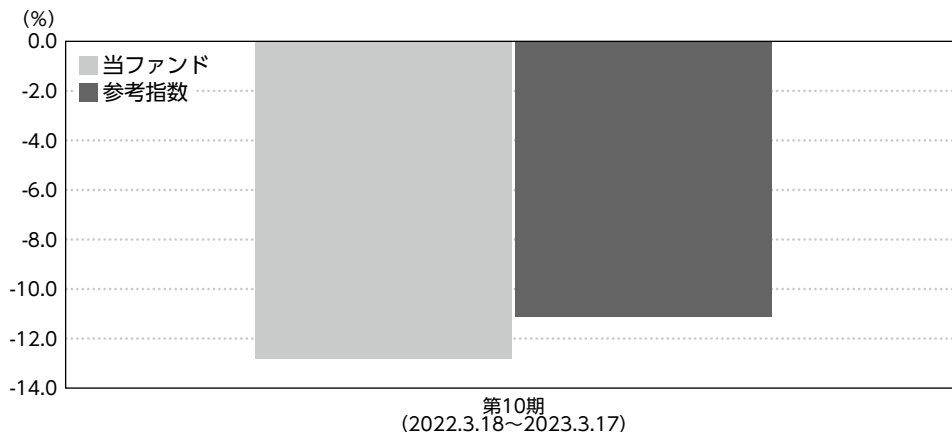
（注）格付はムーディーズ社、S&P社、フィッチレーティングス社のうち、上位の格付を採用しています。上記の3社により格付が付与されていない場合、ピムコの社内格付を使用しています。平均格付とは、投資対象ファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、各ファンドにかかる格付ではありません。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

参考指数との差異

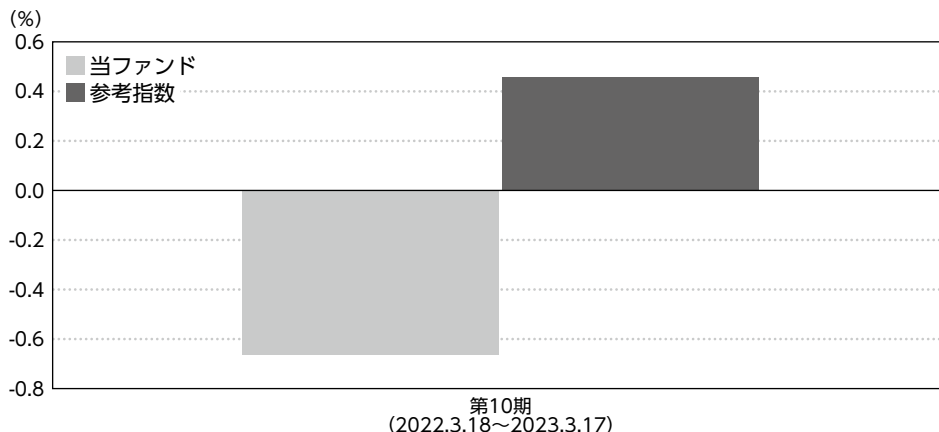
■ Cコース (為替ヘッジあり)



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はF T S E世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジベース) です。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-12.8%となり、参考指数騰落率 (-11.1%) を下回りました。これは主にカバードボンド (債権担保付き社債) などへの投資や、償還に向けて2023年2月上旬より保有銘柄の売却および為替ヘッジの解消を進めたことが、マイナスに寄与したことによるものです。

■ Dコース (為替ヘッジなし)



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はF T S E世界国債インデックス (除く日本、円ベース) です。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-0.7%となり、参考指数騰落率 (+0.5%) を下回りました。これは主にカバードボンドなどへの投資や、償還に向けて2023年2月上旬より保有銘柄の売却を進めたことが、マイナスに寄与したことによるものです。

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

分配金

■ Cコース（為替ヘッジあり）

該当事項はありません。

■ Dコース（為替ヘッジなし）

該当事項はありません。

償還金

■ Cコース（為替ヘッジあり）

1万口当たり償還金（税引前）	9,499円56銭
----------------	-----------

■ Dコース（為替ヘッジなし）

1万口当たり償還金（税引前）	12,424円02銭
----------------	------------

ファンドデータ

ピムコ世界債券戦略ファンド（年1回決算型） Cコース（為替ヘッジあり）の組入資産の内容

組入ファンド

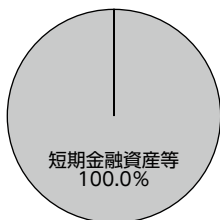
該当事項はありません。

純資産等

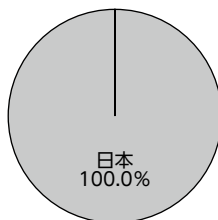
項目	第10期末 2023年3月17日
純資産総額	1,171,994,822円
受益権総口数	1,233,735,771口
1万口当たり償還価額	9,499円56銭

(注) 当期間中における追加設定元本額は235,358,654円、同解約元本額は219,133,349円です。

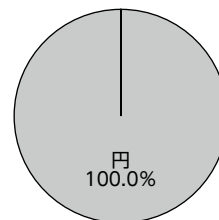
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年3月17日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ピムコ世界債券戦略ファンド（年1回決算型） Dコース（為替ヘッジなし）の組入資産の内容

■組入ファンド

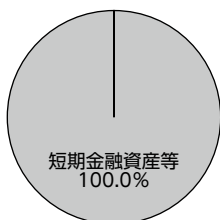
該当事項はありません。

■純資産等

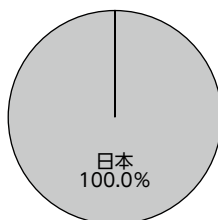
項目	第10期末 2023年3月17日
純資産総額	648,012,062円
受益権総口数	521,580,017口
1万口当たり償還価額	12,424円02銭

(注) 当期間中における追加設定元本額は63,659,262円、同解約元本額は157,731,205円です。

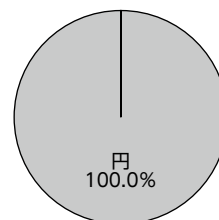
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



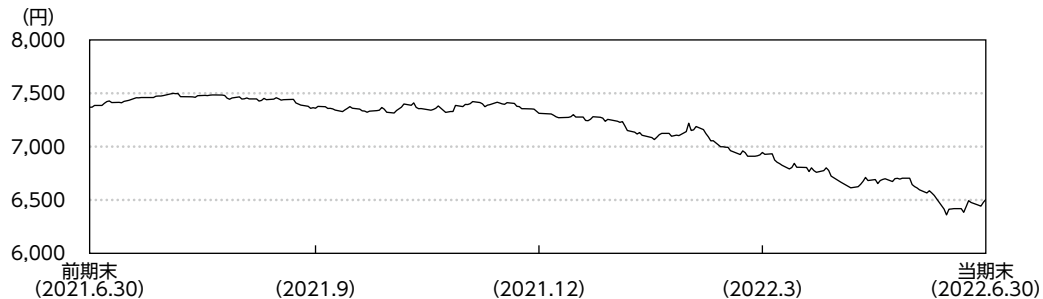
(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年3月17日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

*償還日である2023年3月17日現在、各ファンドにおいて投資先ファンドの組み入れはありませんが、ご参考までに投資信託証券およびマザーファンドの直近の各決算日における情報を記載しています。

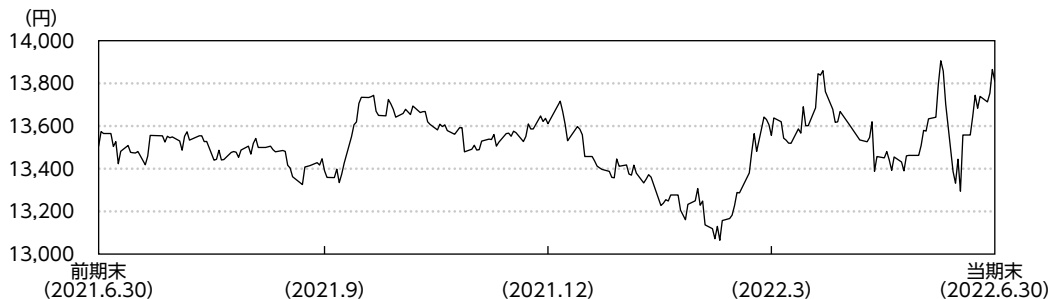
PIMCOバリュース・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド クラス円ヘッジ/クラス円の概要

■ 税引前分配金再投資基準価額の推移

< PIMCOバリュース・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド クラス円ヘッジ >



< PIMCOバリュース・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド クラス円 >

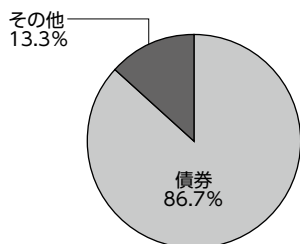


(注) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

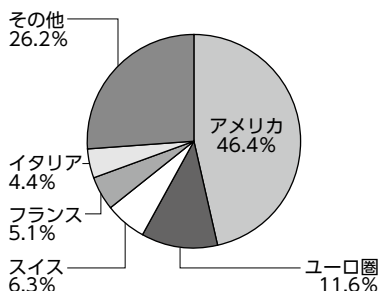
■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
FNMA TBA 3.5% AUG 30YR	米ドル	7.9%
FNMA TBA 4.0% AUG 30YR	米ドル	3.9
U S TREASURY BOND	米ドル	2.4
U S TREASURY BOND	米ドル	2.4
SINGAPORE GOVERNMENT	シンガポール・ドル	1.8
U S TREASURY INFLATE PROT BD	米ドル	1.7
UK GILT 4.25 12/07/2040 BD	イギリス・ポンド	1.5
FRANCE (GOVT OF)	ユーロ	1.4
NYKREDIT REALKREDITIO10**PARTIAL CALL**	デンマーク・クローネ	1.4
AUSTRALIA GOVT	オーストラリア・ドル	1.4
組入銘柄数		378

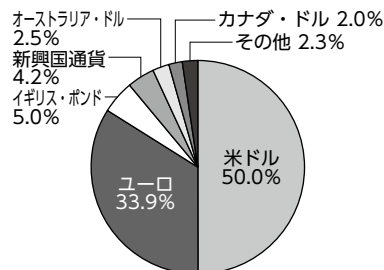
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 組み入れているのは「PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド クラス円ヘッジ/クラス円」ですが、投資信託証券が投資している「PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド」の投資資産を表示しています。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2022年6月30日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券の純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はピムコ（PIMCO：パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー）の分類によるものです。

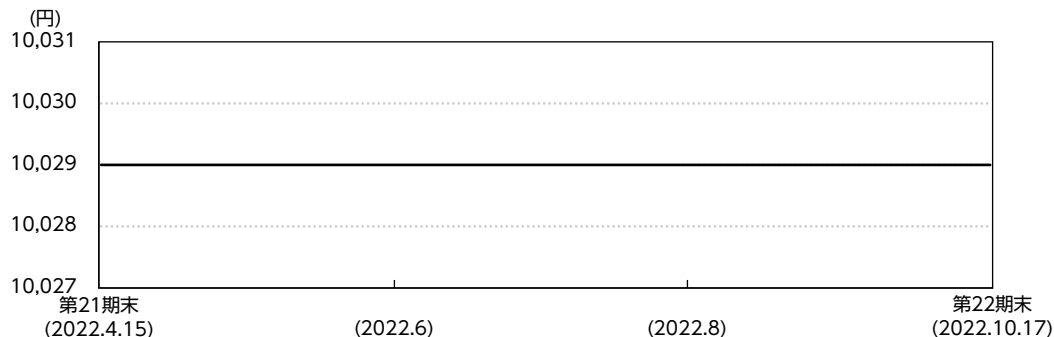
(注3) 国別配分におけるユーロ建てのスワップや海外先物はユーロ圏としています。

(注4) 1万円当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。

(注5) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

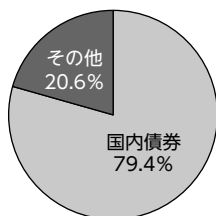
銘柄名	通貨	比率
第374回 大阪府公募債（10年）	円	19.9%
平成24年度第2回 新潟県公募債	円	19.8
第193回 神奈川県公募債	円	19.8
第115回 共同発行市場公募地方債	円	19.8
組入銘柄数		4

■ 1万口当たりの費用明細

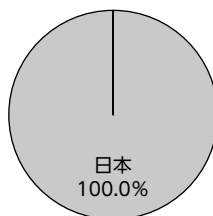
2022.4.16~2022.10.17

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

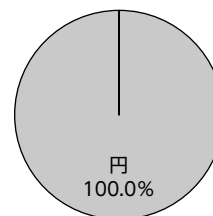
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分

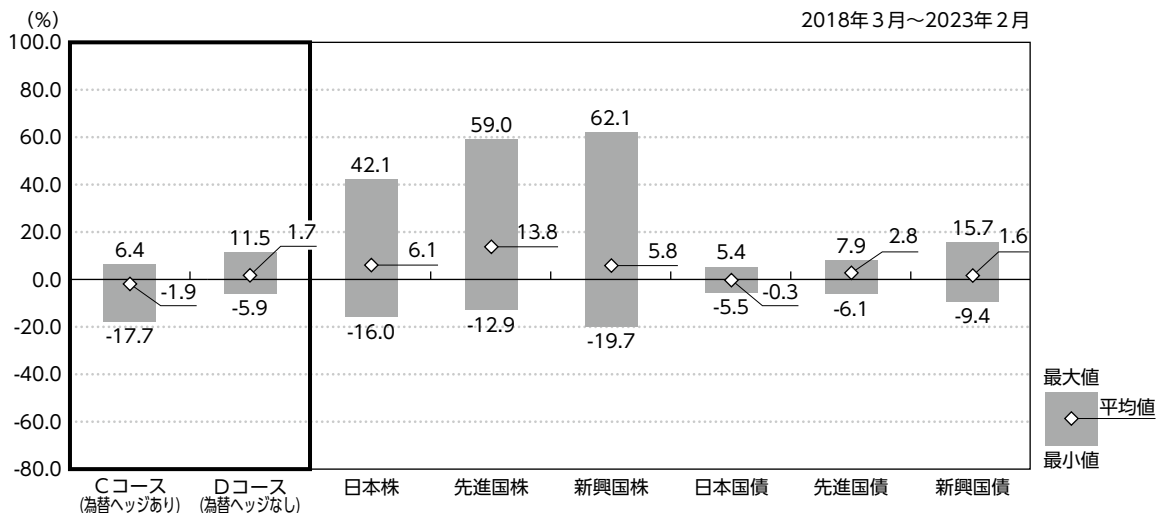


(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2022年10月17日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、各ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは各ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、各ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、償還日に対応した数値とは異なります。

< 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが各ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

*各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

指数に関して

■ ファンドのベンチマーク等について

- ・ F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジベース）
F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・ F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
- ・ M S C I コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ M S C I エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P I 国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産は同社に帰属します。なお、同社は、各ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・ J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイドは、J P モルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

お知らせ

■運用体制の変更について

運用部門については、CO-CIO（取締役執行役員、統括部長）の2名体制からCIO（取締役執行役員）1名とCO-CIO（統括部長）1名の体制に変更しました。

新たにCIOが就任し、従来のCO-CIOのうちの1名（統括部長）が、引き続きCO-CIOを務めています。

（2022年3月25日）

■＜Cコース（為替ヘッジあり）＞の自社の実質保有比率

2023年2月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に7.3%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

■＜Dコース（為替ヘッジなし）＞の自社の実質保有比率

2023年2月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に7.3%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

各ファンドの概要

		Cコース（為替ヘッジあり）	Dコース（為替ヘッジなし）
商 品 分 類	追加型投信／海外／債券		
信 託 期 間	2013年7月1日～2023年3月17日		
運 用 方 針	外国投資信託証券への投資を通じて、各国の債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
	外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ピムコ世界債券戦略ファンド (年1回決算型)	「PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド クラス円ヘッジ」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	「PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド クラス円」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド クラス円ヘッジ/クラス円	日本を除く先進国の国債・モーゲージ債・社債等	
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・デリバティブの直接利用は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 		
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。		